

所管事務調査の報告

11月19日、日野ふるさと振興課長、高橋主事を説明員として「南蔵王やまびこの森」整備工事について、造成工事などの進捗状況について調査を行いました。

事業の概要については老朽化した青少年旅行村の施設を解体撤去し、南蔵王エリアの地域資源を拡充、整備を図り交流人口を増大しようとするもので、6,380万円の事業費をかけ整備を進め、更に並行して交流棟の建設も着工し、令和2年のゴールデンウィークには開業の予定との事であり、冬期間の工事だけに丁寧で確実な施工を望むものであります。

また、7つのテントサイトは周囲より一段高く土盛りされ、土砂の流出と崩落を防ぐため四角に擬木で枠を組む工法がとられており、法面は芝を張ることによってしっかりと補強がされるとの説明でした。

工期内完成と有害鳥獣の進入を防ぐための対策も必要であることを申し添え報告いたします。

産業建設常任委員会
委員長 梅津 政志



産業建設常任委員会
「南蔵王やまびこの森整備工事について」

所管事務調査の報告

去る11月27日、阿部教育長、今野教育次長、小野教育専門監を説明員として七ヶ宿町英語教育の状況について中学一年の授業参観を含め教育委員会の対応を調査いたしました。

中学1年生の授業では、教師と外国語実習補助のALTが、生徒一人ひとりに丁寧な授業で、マンツーマンでのメリットが有りましたが、子供達の声が小さく遠慮がちな授業に感じられました。

教育委員会の説明では、来年度から小学校5~6年生で英語が正式教科となるが、英語教育に支障が無いよう教師の研修を行い、小中学校の連携を図りながら授業を進めるとのことでした。

しかし、子供たちが英語教育にしっかりと対応できるためには、授業以外でも英語に触れる機会を多く与えることが必要であり、その為には校内に多くの英語に触れる環境を整えることが必要と思われま

す。行政や教育委員会、教育現場に至るまで以上のような点に十分な配慮をいただくよう申し添え報告と致します。

総務文教常任委員会
委員長 吉田 修



総務文教常任委員会
「英語教育の状況について」